

12. 取り付け準備

取り付け作業の前に

- 1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。
- 2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けください。



取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

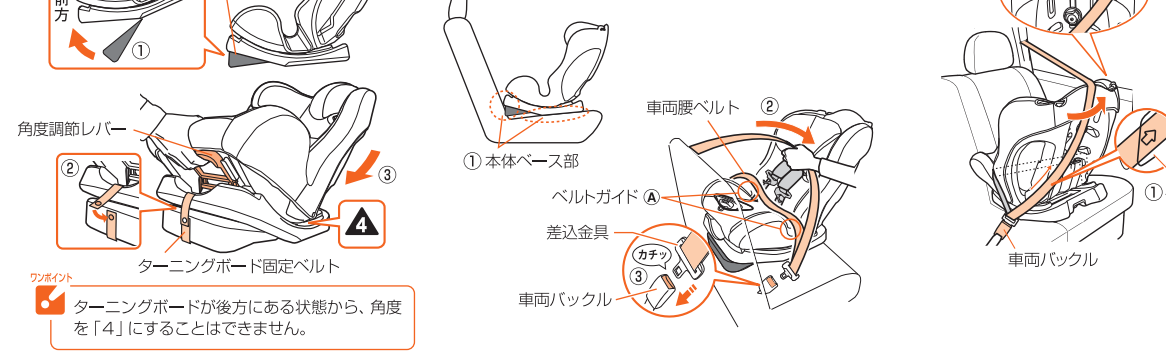


下記のサイトにて取扱説明動画を提出しておりますので、ご確認ください。
http://www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

13. ベビーモード (体重 10kg 未満のおさま) の取り付け

インナークッション座面用を取りはずしてから、車の取り付けをします。(「10. インナークッション・エッグショックパッドの使いかた」参照)

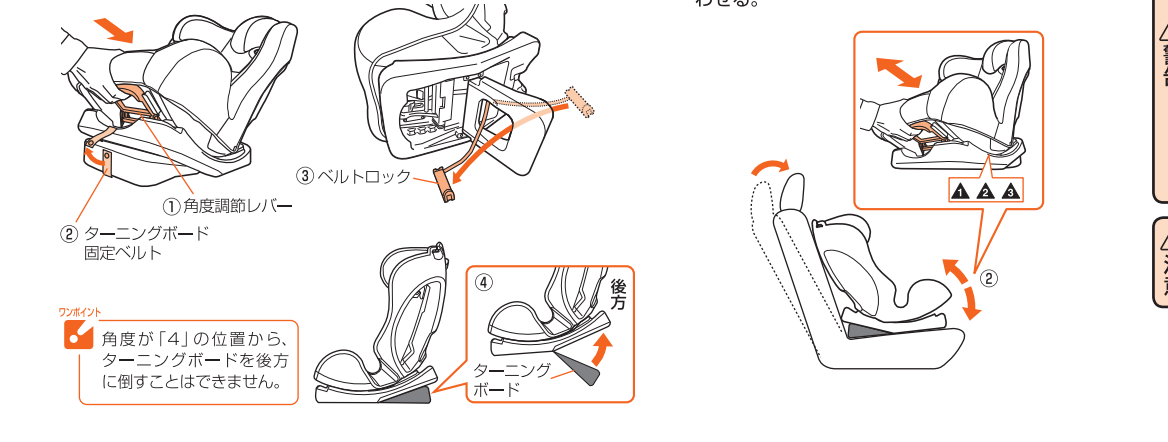
- 1 ターニングボードを前方に倒し、ターニングボード固定ベルトで本体ベース部に固定します。
- 2 角度調整レバーを引きマーカーを「4」に合わせます。
- 3 車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイド⑥を通して、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 4 車両腰ベルトを左右のベルトガイド④を通して、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 5 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 6 車両シートベルトを車両バックル側のベルトガイド⑥に通す。
- 7 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 8 車両肩ベルトを左右のベルトガイド④を通して、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



ターニングボードが後方にある状態から、角度を「4」にすることはできません。

14. チャイルドモード (体重 9kg 以上 18kg 以下のおさま) の取り付け

- 1 角度調整レバーを引きマーカーを「4」以外に合わせる。
- 2 ターニングボード固定ベルトをはずす。
- 3 ターニングボードの穴に、ベルトロックを窓のように通す。
- 4 ターニングボードを後方に倒す。
- 5 角度調整レバーを引き、マーカーを「1~3」に合わせる。
- 6 車両座席の背もたれ角度に合わせ、本体の角度を調節する。
- 7 角度調整レバーを引き、マーカーを「1~3」に合わせる。



15. おさまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた

幼児肩ベルト通し穴の位置は、ベビーモードとチャイルドモードで選ぶ位置が異なります。本製品をご使用前に、下記の幼児肩ベルト位置を目安に調節してください。※幼児股ベルトは調節できません。(工場出荷時、幼児肩ベルトは1番下の幼児肩ベルト通し穴に設定されています)

肩ベルト通し穴の位置

- ベビーモード
おさまの肩の高さよりも、やや下(目安: 3cm程度)になるよう、肩ベルトの位置を調節してください。
- チャイルドモード
おさまの肩の高さよりも、やや上(目安: 3cm程度)になるよう、肩ベルトの位置を調節してください。

調節のしかた

- 調節ベルトが動かない場合は、本体底面で調節金具が挟まっている可能性があります。角度調整レバーを引き、本体側面のマーカーを「2」または「3」に合わせ、調節ベルトを引くことで解消されます。
- ベルト調節金具から幼児ベルトをはずす。
- 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片ずつ引き抜き、肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。
- 肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように注意しながら通し、本体背面から引き出す。

17. ジュニアモードの準備

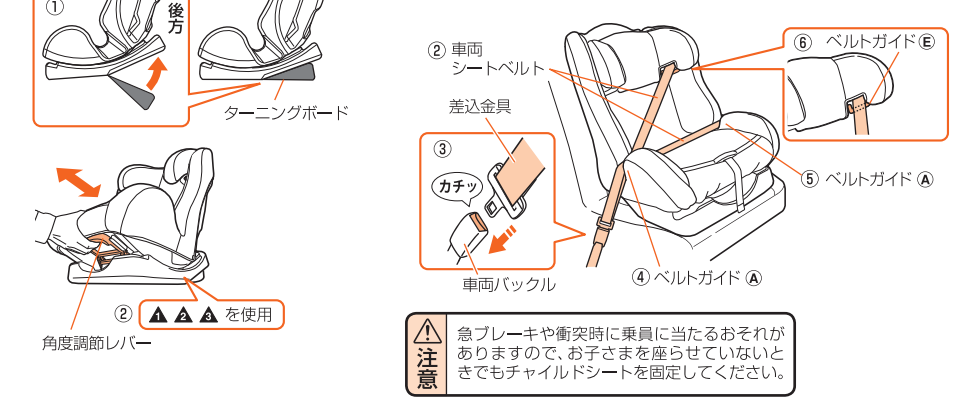
インナークッション、股あてパッド、シートカバー、肩ベルトカバーを取りはずして行います。(「10. シートカバーの取りはずしかた」参照)

- 1 本体を倒し、座面裏側のプレート本体の穴にタテに押し込む。
- 2 プレートを押し込み、ヘッドレストを最上段まで上げ、幼児肩ベルトを肩ベルト通し穴の最上段に通し、本体背面から引き出す。
- 3 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。
- 4 引き出した調節ベルトを窓のように座面に納める。
- 5 シートカバーを取り付ける。
- 6 シートカバーの取りはずしかた「取り付けかた」参照

ジュニアモードではベルトロックを使用しないため、本体背面のどちらの幼児肩ベルトに取りつけておいてください。

18. ジュニアモード (体重 15kg 以上 25kg 以下のおさま) の取り付け

- 1 ターニングボードを後方に倒し、角度調整レバーを引きマーカーを「1~3」に合わせる。
- 2 本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するよう置く。
- 3 車両シートベルトを引き出し、「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
- 4 車両腰ベルトを左右のベルトガイド④に通す。
- 5 車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイド⑥に通す。
- 6 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、おさまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。

19. おさまの座らせかた (ジュニアモード)

保護者のかたの補助なしでおさまが一人で乗り降りすると、車両座席からすり落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

おさまを窓のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- おさまが、身体を左右どちらかに傾けて座っている
- おさまが、中腰、正座、立てひざなどをする

おさまの腕は必ず車両のシートベルトの上になるようにしてください。

ジュニアモード取り付け完了チェックのしかた

ヘッドレスト(ベルトガイド⑥)の高さ目安

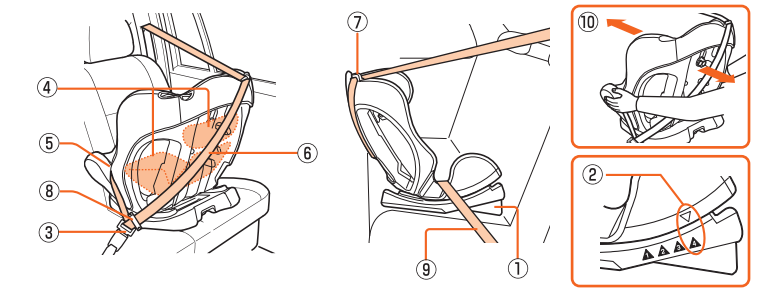
ベルトガイド⑥は、車両肩ベルトがおさまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。おさまが成長し、ベルトガイド⑥が低くなったときは、ヘッドレストの高さを調節し直してください。

おさまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- 1 ターニングボードが後方に倒されていること。
- 2 角度調整の位置が確実に「1~3」になっていること。
- 3 車両座席と本体の間に大きなすき間がないこと。
- 4 車両肩ベルトがベルトガイド⑥を通り、おさまの首を圧迫していないこと。
- 5 車両シートベルトがおさまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
- 6 車両腰ベルトがおさまの腰を押さえていること。
- 7 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- 8 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④を通過していること。
- 9 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド⑥を通過していること。

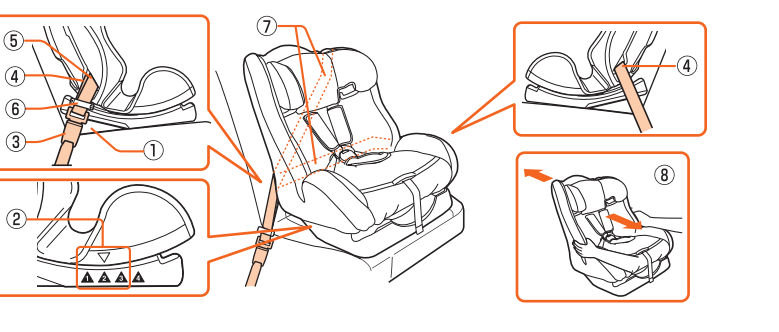
ベビーモード取り付け完了チェックのしかた

- 取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。
- 1 ターニングボードが前方に倒れていること。
 - 2 角度調整の位置が確実に「4」になっていること。
 - 3 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
 - 4 おさまの体重が 7kg 未満の場合は、インナークッションが取り付けられていること。
 - 5 7kg 以上 10kg 未満の場合は、インナークッション座面用のウレタンを取りはずすこと。
 - 6 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④を通過していること。
 - 7 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド⑥を通過していること。
 - 8 ベルトロックが車両バックルに確実に取り付けられていること。
 - 9 車両シートベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
 - 10 本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。



チャイルドモード取り付け完了チェックのしかた

- 取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。
- 1 ターニングボードが後方に倒れていること。
 - 2 角度調整の位置が確実に「1~3」になっていること。
 - 3 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
 - 4 車両腰ベルトが左右のベルトガイド⑥を通過していること。
 - 5 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド⑥を通過していること。
 - 6 ベルトロックが確実に取り付けられていること。
 - 7 車両シートベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
 - 8 本体座面の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認すること。



16. おさまの座らせかた

※ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

おくるみなど、両足が分れない衣類の着用はおやめください。

調節ベルトが下記のように、正しく通っていることを確認してください。

ベビーモード

- おさまをタオルなどでくるんだまま、座らせしないでください。
- おさまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

チャイルド/ジュニアモード

- おくるみなど、両足が分れない衣類の着用はおやめください。
- おさまをタオルなどでくるんだまま、座らせしないでください。
- おさまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

16. おさまの座らせかた

※ジュニアモードでは幼児ベルトを使用しません。

「おさまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた」の手順1の作業を行う。

左右の差込タンクを組み合わせながら「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込む。

幼児ベルトを短く調節する。

- 1 幼児ベルトは、必ず腰のできるだけ低い位置にかかるとし、腰の間に調節する。
- 2 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
- 3 調節ベルトを手前に引き、おさまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。おさまの体にフィットしていないと、衝突時におさまが飛び出したりするおそれがあります。

幼児ベルトは、まっすぐ斜めに引くとベルトを傷め、おさまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

おさまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを下げてください。

おさまが骨盤でないように、また幼児ベルトがたるみすぎないように調節してください。

また肩からはずれていないこと、おさまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた「手順1」を参照してください。

19. おさまの座らせかた (ジュニアモード)

バックルをいったんはずし、おさまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

おさまにあわせ、ヘッドレストの高さを調節する。

※「9. ヘッドレスト(肩ベルトガイド)の調節のしかた」参照

差込金具

おさまの腕は必ず車両のシートベルトの上になるようにしてください。

ジュニアモード取り付け完了チェックのしかた

おさまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- 1 ターニングボードが後方に倒されていること。
- 2 角度調整の位置が確実に「1~3」になっていること。
- 3 車両座席と本体の間に大きなすき間がないこと。
- 4 車両肩ベルトがベルトガイド⑥を通り、おさまの首を圧迫していないこと。
- 5 車両シートベルトがおさまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
- 6 車両腰ベルトがおさまの腰を押さえていること。
- 7 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- 8 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④を通過していること。
- 9 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド⑥を通過していること。